特定非営利活動法人 希望と輝きのまちひがしねを創造する　第26号　２０１５年1月

クリエイトひがしねニュース

発行　ＮＰＯ法人クリエイトひがしね　999-3796 山形県東根市中央1-5-1 タントクルセンター内
TEL 0237-43-0732 www.higashine.org　発行責任者　菊 地 和 博

みんなで妖怪ウォッチダンスで盛り上がりました

「読み聞かせ」のすすめ

タントクルセンター
センター長　村　田　民　雄

東根市立神町小学校の読み聞かせサークル「りぼん」の活動に参加してまもなく３年になります。会員は小学生をもつ現役の保護者と、「地域の人」と呼ばれる子育てを終えた会員で構成されており、今年の会員は25名、うち男性が４名です。神町小学校の学級数は15学級、会員はそれぞれ１年をかけてほぼ各学年各クラスをまわります。

「すぐれた絵本に年齢はない」と言われますが、1年生と6年生に同じ絵本で大丈夫だろうかと悩みながら、最初の一年はかつてわが子や孫に読み聞かせた絵本の中から、『やさしいライオン』や『かにむかし』『100万回いきたねこ』などを取り上げてみました。相手が小学生とはいえ、与えられた15分という時間をベストの状態を保つのはむずかしいものです。子どもたちに絵本を向けて、斜めの角度から文字を読まなければなりません。ただでさえ不自然な姿勢なのに、視力の衰えは致命的で、途中で目がかすんで文字を追えずしどろもどろです。

そこでくるしまぎれに思いついたのが絵本を丸ごとコピーして紙芝居風様にし、舞台を段ボールで作ってみたところ、手作り感があふれて好評で、以後このスタイルを続けています。

１クラス30名の子どもたちをどうやって引き付けるか、力量の問われるところですが、毎回終了後の「ふり返りの会」では、「静かに聞いてくれた」とか「笑ってくれた」「まったく反応がなかった」など悲喜こもごもの感想が出されます。目に見えた反応を求めるあまり「受けねらい」の絵本を選びがちになりますが、心の奥深くに届く感動は目に見えません。絵本の力を信頼してひたすら「届け役」を果たすのみです。毎回準備してくれるサークルの役員と学校に感謝しながら、至福の時間を楽しんできた３年間でした。こんな贅沢な経験はめったにできるものではありません。皆さんもいかがですか。

あそびあランド

あそびあランド

二度目の冬

肥やし袋はサイコー

あそびあランドに２度目の冬がやってきました。地面を真っ白に染めた雪は、子どもたちの手によって、大きなキャンバスや雪玉、かまくら、ふわふわのベットなどいろいろなものに変身していきます。ソリ滑りやかけっこで感じる風の冷たさなんてなんのその！体の芯までカチコチになっても、「おもしろい！」であふれかえる子どもの心は、ワクワクドキドキでポカポカなんです！冬でも元気なあそびあランドに、ぜひ遊びに来てくださいね！　　（工藤陽香）

イルミネーション点灯式

11月24日(月)ひがしねあそびあランドのクリスマスイルミネーション点灯式を開催しました。あそびあランドのモミの木にみんなで飾り付けを行った後、センターを会場にシンガーソングライター Kiyo さんによるクリスマスミニコンサートが行われました。鈴やカスタネットを鳴らしながらクリスマスソングを歌ったり踊ったり、途中で雪が降ってくるサプライズもあり、大いに盛り上がりました。最後はみんなでカウントダウンをしてイルミネーション点灯です。今年のクリスマスもあそびあランドのイルミネーションを楽しみにしてください。（髙橋陽介）

ここがいいかな？

クリスマスソングで
大盛り上がり！

イルミネーションの
前で「ハイチーズ」

タントクルセンター

クリスマス交流会

みんな大好きサンタさん登場

12月7日(日)に東根市ファミリー・サポート・センターのクリスマス交流会が開催されました。今回は181名の方々が参加してくださいました。

今年の創作劇は「大きなかぶ」。協力会員さんとぽぽたん応援団が動きやセリフを一生懸命練習した手作りの劇。子ども達も動物のお面をつけて「うんとこしょ、どっこいしょ」と大きなかぶを引っぱってくれました。最後はサンタさんが登場！歌ったり、踊ったり、とっても楽しい交流会になりました。（髙橋幸江）

きれいな音色
ハンドベル演奏

会場といっしょに
「うんとこしょ！どっこいしょ！

自主事業

体感型ワークショップ

「体感型ワークショップ」という言葉に、どんなことをさせられるのか、ドキドキして受講した方が多いようです。いざはじまると、自分が呼んでほしいネームを胸につけ、いろんな人に呼ばれると気分が高揚し、気がつけば、あっという間の90分！実際に体を動かして、相手にアイコンタクトを送ったりとワークを通じて、一人ひとりの意識の持ち方や感じ方で、自分と他の人との感覚の違いを体感できたようです。2月にも続編があるので、楽しくコミュニケーション力のスキルアップに挑戦していきます！（村山恵子）

色を体で表現！ハート型をつくって赤を表しています

進化する「楽楽（らくらく）クラブ」

楽楽クラブが子育て支援活動に関わりを持つようになって、会員の姿も大きく変わろうとしています。自主活動を理解し、会員が無理のない日程にあわせて積極的に参加しています。東根市内小学校の体験学習ではむかし遊びをはじめ、やさしくおだやかにていねいに教え、子どもたちに喜ばれています。会員自身も孫に接したときのような笑顔になって帰っていきます。また手話を学び生涯学習フェスティバルで発表し好評でした。月１回の交流を楽しみながら地域活動へと結びつけ、夢をふくらませつつあります。（鈴木茂子）

山形県少年少女合唱祭に参加

けやきジュニア合唱団

写真提供：山形新聞社

新年を迎え少人数ながら団員も明るく雪にちなんだ歌や春を待つ歌、そしてアニメソングなどを楽しみながら歌っています。昨年は芸文協50周年記念公演で音楽連盟といっしょに、またアップルコーラスの30周年記念コンサートにも特別出演。タントクルセンターを会場に開催された山形県少年少女合唱祭にも参加して、県内の団体230人の大合唱も経験するなど飛躍の年となりました。

これらの活動をみて、兄弟で参加している団員の保護者からは「末っ子もはいりたいと言っている」とか、「退団したけれどもう一度参加したい」などの声も聞かれ、発足10年になる今年は、３回目のコンサート実現に向けて大きな夢を描いています。（鈴木茂子）

→出演を終えて記念撮影

↑フィナーレは二三〇名の参加者全員で感動の大合唱

クリエイトひがしね メンバー紹介 ⑫

庄　司　美保子

けやきホールと子育て支援センターに勤務しています。保育の現場に長く携わってきましたが、出産・育児を経て４年ぶりの社会復帰になります。まだ慣れない面はありますが、相手の立場に立ち、自分が出来ることに心を尽くしていきたいと思います。仕事の後は幼稚園児の息子とけやきホールにもどり元気いっぱい遊ぶ毎日。スタッフとして母親として笑顔で頑張っています。

阿　部　美穂子

けやきジュニア合唱団の活動に携わってあっという間に４年がたちました。歌の大好きな子どもたちと一緒に歌ったり踊ったりする時間はとても楽しく、子どもたちに若返りの薬をもらいながら活動を続けています。県少年少女合唱祭が東根市で開催され、当日は他の合唱団の歌声に刺激を受け子どもたちの歌声がぐんと大きくなり驚きでした。これからの子どもたちの活躍が楽しみです。

事務局の窓

１月５日東根市新春を祝う会へ初めて出席しました。国歌斉唱、市民憲章の唱和と厳かに始まり、ビシッとスーツで決めた各界でご活躍されている方々の間を、右往左往しながらご挨拶させていただきました。受託運営している、タントクルセンター・あそびあランドの認知度は１００％で、皆様から労いと激励のお言葉を頂きました。クリエイトひがしね10周年！　20周年、30周年へと未来を目指して、気持ちも新たにスタートを切りました。（Y）

クリエイトひがしねの活動が見られます

■ホームページ　クリエイトひがしね　検索
あそびあランド　検索

■フェイスブック　あそびあランド　検索

編集後記

★年末にインフルエンザが猛威を振るい、１年生の孫の学校も１年・４年を除いて学年閉鎖になりました。勉強が苦手な孫は学校を休めるのがよっぽどうらやましいらしく、「わたし手もあらわないし、うがいもしないのにどうしてインフルにならないのかなあ、ふしぎだなあ」と、とても残念がっていました。「早いものでもう一年か」とは成長しきった大人の時間感覚で、子どもの一年は、春夏秋冬をしっかり感じとりながら、大人に成長していく大切な時間なのです。（T）